

19-39 歳町民アンケート

1. 総合戦略に関する自由記述

	主な意見
[1] 雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 求人の選択肢の少なさ ◎ * サービス業以外の職を選べない・場所職種が限られ、湯沢に帰ってくるのが難しい ・ 転職活動が困難 ・ 開業する場がなく、家賃も高い ・ 企業誘致(IT系、製造工場) * 通勤圏内の他市町村も巻き込み企業の誘致を ・ 若者の起業支援の拡充 ・ 介護資格取得の補助金ではなく、現在働いている人に手当を
[2] 移住	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定住者を外から呼び込むだけでなく、今住んでいる人たちが住みやすく ◎ * 居住に伴う問題にどう対応するか(商業施設、雇用、若者が集まる場所、病院、雪) ・ 移住促進や定住者が利用できる制度の認知度向上(賃貸住宅家賃補助金や新幹線通勤補助金の申し込み方、ボランティアや資格) ・ 住宅支援よりも雪への対策金を出してほしい(雪下ろしを格安で受けれるなど) ・ 新幹線通勤を県内でも適用 ・ 若者ではなく移住してくる人は高齢者や障害者が多いことに不安を感じる ・ 住宅取得補助金のハードルが高い ・ 定住補助の条件を拡大
[3] 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門学校の設定(観光・IT) * 観光なら実習先の充実、人手不足解消、マンションを寮として貸し出す ・ 学力向上 ・ 町の奨学金を借り地元で就職した人は奨学金を減免する制度を取り入れる ・ 湯沢学園に白馬高校国際観光料のような特色のあるカリキュラムを取り入れてはどうか
[4] 子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園・遊具の設置 ◎ ・ 子供を預ける場所の充実(夜間帯) ◎ * 自営業を理由に子供を預かってもらえない(自営業は年中無休のところがたくさん) * 休日保育を利用すると週内に振り替えを行わなければいけない、サービス業で働く家族は多い ・ 産後の母のケアの充実 * 移住してきた人は近くに祖父母がいないので大変 ・ 少子化手当(出産祝い金など)の継続 ・ 育児休暇を取ることで保育園に既に入園してる子が退園する制度の廃止 ・ 不妊治療の助成金をあげてほしい ・ 子育て支援の認知度向上

	主な意見
[5] 観光	<ul style="list-style-type: none"> ・夏と冬以外の観光資源がない ・観光環境の改善がされていてよい ・芸術を町内に取り入れる(十日町、津南町) ・温泉通りの問題点 <ul style="list-style-type: none"> * お店が少なく食事難民が出る * 狭すぎて送迎バスと観光客のすれ違いが危ない * ベビーカーを使うのに安心安全な道が欲しい ・閑散期のリゾートマンションを最大限活用
[6] 若い世代活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ ALL YOUTH YUZAWA <ul style="list-style-type: none"> * とてもいい、若者の意見が大切 * 興味がある * 参加する機会を増やしハードルを低くしてほしい * 内輪感がある ・若い世代の意見を言う場が欲しい
[7] その他	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設の設置 ◎ ・病院(産婦人科・小児科)の設置 ◎ ・就業・起業支援、移住・定住支援などの認知度向上 ◎ ・総合戦略・施策の認知度の低さ、町民の町政参加意識の低さ <ul style="list-style-type: none"> * 町政や広告活動をネット媒体で知れたらよい、若者向けに分かりやすい言葉 ・家賃が高い ・婚活イベント(魚沼地域・観光地の強みを生かしたもの) ・物価・家賃が高い ・新しい施設が増えていて住みやすい田舎でよい ・介護保険サービス内容の充実、若い障害者のサポートなどさらに充実 ・マンションや空き地を若者に格安で提供 ・起業支援金で起業した人・会社名を公表 ・医療費の完全無料の継続 ・若者が遊ぶ場所

[1] 雇用

	男性	女性
19-24 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 求人の選択肢の少なさ ◎ * サービス業以外の職を選べない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 求人の選択肢の少なさ ◎ * 場所・職種が限られ、湯沢に帰ってくるのが難しい * 働きやすい職場・満足のいく給料を確実に ・ 介護資格取得の補助金ではなく、現在働いている人に手当を
25-29 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 求人の選択肢の少なさ ◎ ・ 新幹線通勤補助の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 求人の選択肢の少なさ ◎ * サービス業が多く、土日出勤が当たり前 ・ 母親や片親を支援するシステムが欲しい
30-34 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 求人の選択肢の少なさ ◎ * 若者の U ターン就職が困難 * 転職活動が困難 ・ 開業する場がなく、家賃も高い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 求人の選択肢の少なさ ◎ → * 安定した正社員雇用の少なさ
35-39 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 求人の選択肢の少なさ ◎ ・ 通勤圏内の他市町村も巻き込み企業の誘致をする ・ 若者の起業支援の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 求人の選択肢の少なさ ◎ ・ 企業誘致(IT 系、製造工場)

[2] 移住

	男性	女性
19-24 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・定住者を外から呼び込むだけでなく、今住んでいる人たちが住みやすく ・移住促進や定住者が利用できる制度の普及（賃貸住宅家賃補助金や新幹線通勤補助金の申し込み方など） ・職場での年齢層が高いため、若い人の負担が大きくなるのがいなくなる原因 ・三国地区が住みづらい ・「ちょうどいい田舎」のアピール 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の生活に必要な日用品を売っているお店の増加
25-29 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力を感じている人がためらいなく移住できるようにしてほしい ・車が必須なのがネック ・外国人の移住促進は正しいのか 	<ul style="list-style-type: none"> ・娯楽の少なさ、複合型スーパー
30-34 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・交流人口拡大の施策継続 ・定住に至らない原因 <ul style="list-style-type: none"> * 冬の雪、物価の高さ、医療が不十分、家族で過ごせる空間不足 ・施策に的外れな部分を感じる(大きな企業の誘致など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・住むとなると出てくる問題にどう対応するか(大型スーパーがない、職が少ない、若者が集まる場所不足、病院不足) ・若者ではなく移住してくる人は高齢者や障害者が多いことに不安を感じる ・住宅取得補助金のハードルが高い ・移住促進や定住者が利用できる制度の普及(ボランティアや資格)
35-39 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・住居や育児の助成を手厚くし、移住→結婚→子供の流れをスムーズに、現在の施策も10～30年の長期想定で行う ・若者が楽しめる町にする ・住民が楽しそうで暮らしが豊かと思われたなら自然と人は集まるのでは 	<ul style="list-style-type: none"> ・住んでいる人が快適に暮らせる支援を ・定住補助の条件を拡大 ・移住を軽く考える人もいる、悪い部分もしっかり伝えるべき ・住宅支援よりも雪への対策金を出してほしい(雪下ろしを格安で受けれるなど) ・新幹線通勤を県内でも適用すれば就職の選択肢が広がる

[3]教育

	男性	女性
19-24 歳	なし	・湯沢学園に白馬高校国際観光料のような特色のあるカリキュラムを取り入れてはどうか
25-29 歳	なし	なし
30-34 歳	・専門学校の設定(観光) *実習先の充実、人手不足解消、マンションを寮として貸し出す	なし
35-39 歳	・専門学校の設定・誘致(IT)	・学力向上 ・町の奨学金を借り地元で就職した人は奨学金を減免する制度を取り入れる

[4] 子育て

	男性	女性
19-24 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化手当が十分にあるので現状維持 ・ 育児休暇を取ることで既に入園していた子が退園になる制度の廃止 ・ 公園 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出産祝い金の継続 ・ 育児休暇を取ることで保育園に既に入園してる子が退園する制度の廃止 ・ 公園
25-29 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援の認知度向上
30-34 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供支援はとても良い ・ 公園の整備 ・ 共働きが多く、出産と労働の両立 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所・学校の統合で通学が大変 <ul style="list-style-type: none"> * 学園に近い所に子育て世代が住みやすい住宅の確保をしてほしい(戸建て) ・ 子供を預ける場所の充実(夜間帯) <ul style="list-style-type: none"> * 自営業を理由に子供を預かってもらえない(自営業は年中無休が多い) ・ 公園の遊具設置 ・ 保育園を増やす
35-39 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園の整備, 遊具設置 <ul style="list-style-type: none"> * 市外・県外に行くことが多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供を預ける場所の充実 <ul style="list-style-type: none"> * 休日保育を利用するとその週内に振り替えを行わなければいけない、サービス業で働く家族はたくさんいる ・ 産後の母のケアの充実 <ul style="list-style-type: none"> * 移住してきた人は近くに祖父母がいないので大変 ・ 公園(越後丘陵公園) ・ 不妊治療の助成金をあげてほしい

[5] 観光

	男性	女性
19-24 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・夏と冬以外の観光資源がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光環境の改善がされていてよい ・芸術を町内に取り入れる(十日町、津南町)
25-29 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・駅の東口に飲食店やお店が少ない ・夏と冬以外の観光資源がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・温泉通りのお店が少ない、食事難民 ・温泉通りが狭すぎて送迎バスと観光客のすれ違いが危ない
30-34 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・そもそもの観光資源が少ない ・外国人観光客のマナー ・温泉通りにベビーカーを使うのに安心安全な道が欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・町の魅力がスキーや山登り以外に見つけれない(美術・音楽・演劇鑑賞など)
35-39 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・閑散期のリゾートマンションを最大限活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が素晴らしいのでそこをアピール

[6] 若い世代の活動

	男性	女性
19-24 歳	なし	なし
25-29 歳	なし	なし
30-34 歳	・若い世代の意見を言う場が欲しい	・ALL YOUTH YUZAWA はとてもいい、 若者の意見が大切
35-39 歳	なし	・ALL YOUTH YUZAWA に興味があるので、 参加する機会を増やしハードルを低くしてほしい *内輪感があり、受け入れがたくなっている

[7] その他の意見

	男性	女性
19-24 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設の設置 ＊雇用の増加、賑わいの面でも改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設の設置 ・病院の設置 ・就業・起業支援、移住・定住支援などの認知度向上
25-29 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人向けの政策が必要 ・総合戦略・施策の認知度の低さ、町民の町政参加意識の低さ ＊町政や広告活動をネット媒体で知れたらよい ・家賃が高い ・婚活イベント(魚沼地域) 	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設の設置 ・湯沢に産婦人科の設置 ＊浦佐まで行くのが大変
30-34 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設の設置 ・総合戦略の認知度向上 ＊保育園、スーパー、飲食店などで提示すれば主婦層は見る ・結婚相手紹介サービスを利用する人がどれほどいるのか ・少ない人口でも町を維持できる方法を考えるべきでは ・旅館業で勤めている従業員が夜食事に行ける場所が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設の設置 ・総合戦略など若者向けに分かりやすい言葉で説明 ・移住定住のPR動画(温泉につかった2人の女性が東京の悪口を言う)はやめたほうがいい ・婚活イベント(観光地の強みを生かしたもの)
35-39 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・6つの基本目標の具体的な取り組みを見直す ＊移住促進のための補助金は夫婦の合計年齢を定めるのではなく中学生以下の子供がいれば年齢制限なしにする ＊全額交通費補助 ＊移住希望者は半年間お試しで全額無償など 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院(産婦人科・小児科)の設置 ・総合戦略・施策の認知度向上 ・若者が遊ぶ場所 ・湯沢にもともと住んでいる人で独身の人間向けの助けが必要 ・医療費の完全無料の継続 ・物価が高い(スーパーが遠く、町内の店は観光地価格で高い) ・新しい施設が増えていて住みやすい田舎でよい ・介護保険サービス内容の充実、若い障害者のサポートなどさらに充実 ・マンションや空き地を若者に格安で提供 ・起業支援金で起業した人・会社名を公表すべき

2. 町政全般に関する自由記述

	主な意見
町政全般	<ul style="list-style-type: none"> ・路上喫煙 ・路上駐車 <ul style="list-style-type: none"> * 越後湯沢駅に無料駐車場、スキーシーズンや町内外で祭りがあった際駐車場不足 ・有料の場所(中央公園のフットサル場など)の存在価値 ・町民のスキースノボシーズンパスの高さ（湯沢で働いていても出せない金額）、温泉のサービスがない ・「ありがとう湯沢町感謝のつどい」は必要なのか ・街灯設置 ・議員数削減 ・認定こども園の県道出口にカーブミラーの設置希望 ・消防団員の負担が大きすぎる ・意見が反映されたと感じる事が無い <ul style="list-style-type: none"> * 執行部のビジョンを町民へ聞かせてほしい ・遊休農地の活用 ・リゾートマンションの解体費用を含めた積立金の状態や全体の健全度を透明化する ・空き家のリノベーション ・高齢者が利用できるバス・タクシー ・アンケート自体を QR コードなどで処理すれば人件費削減になる ・書類手続きを郵便対応 OK に ・公民館の図書室にキッズスペースを作り、子供の本を充実 ・スキーワールドカップに反対、スキーをする子供への支援・道具の補助に使ったほうが良い選手を育てられる ・越後湯沢駅の東口にエレベーターの設置 ・低所得者の生活補助制度 ・南魚沼市などと比べて福祉が充実している ・病院保育の受け入れ定員が少ない ・湯沢病院内に隔離された待合室が欲しい

	男性	女性
19-24 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・車社会であるため、冬場の運転が困難 ・路上喫煙の多さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・議員数削減
25-29 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・お店の雰囲気は暗く、初めて観光で訪れる人は入りづらい ・有料の場所(中央公園のフットサル場など)の存在価値 ・認定こども園の県道出口にカーブミラーの設置希望 ・物価が高い ・町民のスキースノボシーズンパスが3万円なのは高すぎる *湯沢で働いて出せない金額 ・スキーリフト等共通乗車券が魅力的 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ありがとう湯沢町感謝のつどい」は必要なのか ・越後湯沢駅に無料駐車場が欲しい *スキーシーズンや町内外で祭りがあった際駐車場不足
30-34 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・町民リフト券を南魚沼市まで利用できるようにしてほしい ・障害者の結婚相談所 ・街灯設置 ・カルチャーセンターでの運動不足解消 ・路上駐車を取り締まり ・湯沢駅の周りだけ発展し、町は衰退 ・議員数削減 ・農業にも目を向ける ・湯沢町がTVで取り上げられる機会が多くなっていてうれしく感じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・就職相談できる窓口 ・地域内で金を生み出すものの見直し、再活用に投資 ・車がなくても暮らしやすくなるといい ・南魚沼市等と比べて福祉が充実している ・病院保育の受け入れ定員が少ない ・湯沢病院内に隔離された待合室が欲しい
35-39 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前の路上駐車対策 ・住民への温泉地、スキーの観光地ならではのサービスがない ・消防団員の負担が大きすぎる ・意見が反映されたと感じる事が少ない *執行部のビジョンを町民へ聞かせてほしい ・遊休農地の活用 ・リゾートマンションの解体費用を含めた積立金の状態や全体の健全度を透明化する 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家のリノベーション ・高齢者が利用できるバス・タクシー ・アンケート自体をQRコードなどで処理すれば人件費削減になる ・書類手続きを郵便対応OKに ・公民館の図書室にキッズスペースを作り、子供の本を充実 ・スキーワールドカップに反対、スキーをすすめる子供への支援・道具の補助に使ったほうがいい選手を育てられる ・就職氷河期世代が生きていけるように ・湯沢の人は外から移住してきた人に冷たいように感じる ・越後湯沢駅の東口にエレベーターの設置 ・低所得者の生活補助制度

16-18 歳町民アンケート

男性	女性
<ul style="list-style-type: none"> ・若い人が働ける場所を作る ・身近に無料で遊べるようなバスケットコートやテニスコートができるとありがたい ・新幹線通学の補助も出してほしい ・帰ってきたいと思うが仕事があるかどうか不安 ・湯沢のことを広告などで宣伝する ・もっと魅力的なところをもっと伝える、HPをもっと多くする（コンテンツを多くする） ・我々高校生ではなく、行政が考えるべき問題だと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・湯沢町が好きだから進学してもまた戻ってきたいと思う。でも、就職先を考えるときに企業説明会などいろいろな支援があることを初めて今回知ったので、せっかくの支援があることを知らない人が多いんじゃないかなと思いました。 ・物価が高い。交通の便が悪い。病院が少ない。 ・湯沢町には仕事がない。 ・雪が少ない地域からの移住者が湯沢の方へも住めるよう何かあると人が増えると思う。定住することによって、どんなデメリット、メリットがあるかもっと発信していくこともよいと思う。これからさらに若者が都会へと進出していくだろうから町にはこのような就職先があると、若者に伝えていくべきだと思う。 ・湯沢町の教育レベルがとても低いと思う。将来自分の子供を湯沢学園に通学させたいとは思わない。おそらく、学校の先生も、教育に対しての意識というか、意欲が低いのだと思う。湯沢のことしか知らない人が多いので、もっと広い視野で考えられるような機会を設けるべき。 ・教育のレベルを上げること！！これに尽きる。自分が子供を持った時にこの湯沢町で教育させたいとは思わないから。つまり、将来は湯沢町で暮らしたくない。 ・夜道が暗いので、外灯をつけてほしい。 ・"楽しめる場所がない。自由に使える整備された広場がない。ファミレスがない。山に木はあるけど、道路沿いに木がない。（イルミネーションすれば、明るくてキレイでオシャレなんだけど…表参道みたいに！！） 駅にプリクラがあるといい（観光客用としても） ・道が暗い。（店がない？）（外灯がないから？） ・全体的に暗い感じ。遅くまでやっている店がないし活気がない。 ・歩道狭い、きれいじゃない。"